

学生からの意見・要望等

～令和3年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	内容	部局等名	意見等への今後の対応(対応できない場合はその理由)を記載してください。
1	<p>以前法文学部でコロナウイルスが蔓延し、法文学部の授業のみ遠隔で行われました。その際に大学から届いたメールが、法文学部の科目のみが遠隔であるのか、共通教育科目も含まれるのかが伝わりにくい内容であったため、混乱した生徒が非常に多くいたように思われます。また、そのメールの内容は結局法文学部の科目のみ、とのことだったのですが、中には共通教育科目を多く受講している人もいて学校には通っていたため、本当にコロナウイルスの蔓延防止につながるのかという意見も多く耳にしました。</p>	法文学部 教務課	<p>(法文学部) 法文学部は感染者の判明を受けて直ちに対面授業を遠隔形式に切り替える措置を取りましたが、対象が法文学部の授業のみであり、共通教育など他部局には及ばないことをさらに明確に連絡すべきだったかもしれません。また今回は感染者の接触範囲を特定した上で、法文棟のみの立ち入り禁止としましたが、必要があればキャンパス全体での対応も行うことになっていきます。なお濃厚接触の可能性のある学生については、個別に自宅待機と健康観察の指示を行っていますので、キャンパスでの感染のリスクはありません。</p> <p>(教務課) 緊急時には部局の判断で授業の対応を判断可としています。なお、今回は、共通教育の授業について伝わりにくい内容とこのことでしたので、今後、同様のケースが発生した場合は、わかりやすく通知がなされるよう部局間の連携を図ります。</p>
2	<p>キャリアイベントや留学案内はもちろん、ボランティアイベントの案内も増やしてほしいです。</p>	キャリア形成支援課 国際事業課 ボランティア支援センター	<p>(キャリア形成支援課) キャリア形成支援センターでは、以下のとおり、年間を通じて様々なキャリア・就職支援イベントを実施しています。数年前からは、学年不問で低学年次から参加できるイベントも増えています。また、就職ガイダンスは通常学部3年生と大学院1年生が対象ですが、インターンシップに関する内容のガイダンスについては1、2年生にも参加を呼び掛けています。それぞれのイベントの詳細はキャリア形成支援センターのHPに掲載し、ポスターを各学部とキャリア形成支援センターの掲示板に掲示すると同時に、対象学年の学生全員に学務WEBメールでお知らせしています。</p> <p>【低学年次生対象のイベント】 ・進路ガイダンス(1月5日) 【全学年対象のイベント】 ・インターンシップのための学内合同企業説明会(6月23日開催) ・マナー講座(8月11日)及びインターンシップ振り返り講座(10月20日) ・中小企業研究講座(11月10日) ・様々な業界・仕事別の研究セミナー(年間随時) ・卒業生による就職・キャリア支援セミナー(12月4日および2月頃) ・大規模なweb合同業界研究フェア(12月25日) 【学部3年生・大学1年生対象のイベント】 ・就職ガイダンス(年間7回) ・就職支援講座(グループワーク実践やWeb面接対策、模擬面接など) ・個別企業セミナーフェア(3月上旬) 【最終学年次生対象のイベント】 ・就活応援講座(就活見直し講座、公務員・公務員希望者向け集団討論対策) ・学内合同企業説明会(例年6月頃) ・個別進路相談会(11月24日)</p> <p>(国際事業課) そのようにいたします。</p> <p>(ボランティア支援センター) 年に2、3回全学部学生に向けて、ボランティア登録の案内のメールを送っています。直近では10/27に送りました。現在、1,000人程の登録者がいます。センターではこの登録者に対して、定期的に地域等からのボランティア募集の情報を提供しています。学生からの応募の受付、相手先との調整などを行っています。また、学内には、様々なボランティア活動に取り組んでいるサークルが数多くあります。</p>
3	<p>新聞部は活動柄、部室でパソコンを使う機会が多いのですが、サークル棟ではWi-Fi環境が不十分なため不便に感じる事が多いです。改善していただけると大変ありがたいです。</p>	学生生活課	<p>現在、サークル会館 I には2階及び3階に無線APが設置されています。今後、1階及び4階にも設置する予定となっていますので、設置後は改善されると思います。</p>

学生からの意見・要望等

～令和3年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	内容	部局等名	意見等への今後の対応(対応できない場合はその理由)を記載してください。
4	セキュリティー関係の制限なのか、manabaへの接続エラーにより授業動画を見られなかった。	教務課	<p>システムエラーは様々な要因が考えられます。エラーが起こった場合は放置せずに以下の対応をお願いします。</p> <p>(1)画面のスクリーンショットを撮る 提出等が期限に間に合わない場合に備えて、授業担当教員への説明資料として必ず保存しておきましょう。また、スクリーンショットを残すことで原因の特定に繋がります。</p> <p>(2)授業担当教員に連絡する 期限に間に合わない場合や延長を希望する場合は授業担当教員へ連絡してください。その際(1)のスクリーンショットを証拠として提出することをおすすめします。</p> <p>(3)システム管理者に連絡する 学内にはシステムごとに管理者や窓口があります。担当者へエラー発生に関する連絡をしてください。担当者がわからない場合は学部の窓口または共通教育係に問い合わせても構いません。その際(1)のスクリーンショットを必ず添付してください。</p>
5	<p>要望としてはオンライン、対面と固定したものではなく収束するまでは、オンラインと対面のハイブリッド授業を増やすことができれば良いということです。</p> <p>大学での学生間のかかわりを増やすためにできるだけ対面をしようとしていただけるのはありがたいです。しかし、週に1度しか対面がなく、その1時間の為だけに遠くからお金をかけて電車で通う人がいたり、全て遠隔を選べたら一人暮らしでも孤独を感じずに実家に帰ることが出来たり、感染が怖いのに対面を受けなければならない人がいたりとは今は考えが様々な人が多いと感じました。その中でハイブリッド授業を受講したことによって、様々な人の考えを尊重できるシステムだと感じました。そのため、友達などの周りの意見と共にこのシステムをもう少し増やして頂けるとより良くなるのではないかと感じています。</p>	<p>教務課 共通教育課 教育学部</p>	<p>(教務課) 令和3年度の授業実施方針では、対面授業と遠隔授業の良い面を活かしたハイブリッド教育を行うこととしています。大学の施設や設備を使う実験・実習・実技等は対面授業、多人数の講義型授業や遠隔授業のメリットを生かせる科目等は遠隔授業により行われます。また、対面授業の実施にあたって、感染に対して不安感が大きい学生等からの申し出があった場合は、遠隔授業やレポート提出等による柔軟な対応を行うこととしています。</p> <p>(共通教育課) 共通教育の後期授業では、343の科目(クラス)の内、88科目(クラス)が対面と遠隔併用で授業を実施している。 実習や実験、演習など、教育の質の確保や授業の到達目標を達成するために可能な限り対面で実施することが望ましい授業もある。初年次セミナー等は文系学部と理系学部とを混在させたクラスとなっているため、グループワーク等を通して、他学部生との交流の機会としていただきたい。 また、対面授業でも、罹患すると重症化する可能性のある学生(心疾患や呼吸器系疾患を含む)、全身性の運動制限等のために抵抗力が落ちている学生、および感染に対して不安感が大きい学生等からの申し出があった場合は、柔軟な対応を行うよう努めている。</p> <p>(教育学部) 学生の皆さんの健康・安全面を考慮しながら、授業内容、教育効果、教室収容数等を勘案して、授業の実施形態を決めています。科目毎に実施形態を決めているため、時間割上、対面授業と遠隔授業が混在する問題が生じていることは認識していますが、その問題を解消するためには時間割を編成し直す必要があり、時間を要すると考えています。 対面授業と遠隔授業のそれぞれの利点を活用し、学修の充実を図っていきますので、ご理解いただければと思います。 なお、感染に不安があり、通学が難しい方については、遠隔で受講できるよう配慮する対応を行っています。</p>

学生からの意見・要望等

～令和3年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	内容	部局等名	意見等への今後の対応(対応できない場合はその理由)を記載してください。
6	履修申請単位数の上限を撤廃または緩和してほしい。	理学部 教務課	<p>(理学部) 与えられた1単位について、授業時間数と予習・復習の時間数が定められています。授業時間外にも当該科目を学習し、理解を深めていただくため、予習・復習の時間が確保できるように履修申請単位数の上限を設定しています。理学部では現在20単位(教育の基礎的理解に関する科目等、各教科の指導法などは含みません)としております。</p> <p>(教務課) 大学設置基準第27条の2に基づき本学においては学則第43条に履修科目の登録の上限を定めることを規定しています。履修登録の上限を定める趣旨としては、学位の質保証の観点から学生さんの学修時間を確保するためとなります。共通教育履修案内(6頁)にも記載してありますように2単位の講義であれば、30時間の授業時間と60時間の予習・復習の時間が必要となります。これらを考慮のうえ、本学においては、履修上限を半期24単位、年間48単位とすることを基本としています。</p>
7	土日に校舎を開放してほしい。土日の図書館の開放時間を早めてほしい。	理学部 共通教育課 図書館	<p>(理学部) 土日は、教職員がいないため、セキュリティ確保のために施錠をしています。教職員が土日出勤した場合、平日の業務に支障をきたしますし、守衛の方を雇用する予算のめどもつかないことから、土日の校舎開放は理学部単独では行えないと考えています。</p> <p>(共通教育課) 共通教育棟については、土日は外部貸出を行い、公務員試験や各種国家試験等に活用されています。土曜日は学習交流プラザも利用できますのでこちらをご利用ください。</p> <p>(図書館) 各館の学生モニター(全学部から1名推薦)へ意見照会を行い、利用者の要望を把握した上で、変更等を検討します。</p>
8	学部の範囲を超えた職業、キャリアに関する講義を受けてみたい。	キャリア形成支援課	<p>共通教育科目「キャリアデザイン」を受けていただければと思います。 「キャリアデザイン」を受講した学生は、高度共通教育科目「社会人基礎力演習」も受講し、社会人として必要な知識やスキルを身に付けることができます。 正課外のキャリア支援セミナーとして、全学部・全学年の学生が参加できる業界・職種別研究セミナーや卒業生によるキャリア支援セミナーにも参加をお勧めします。</p>
9	学生証とスマートフォンを連動させる機能がほしい。	教務課	<p>技術的には可能(情報企画課確認済み)のようですが、それに係る費用やメリット・デメリット等を調査のうえ慎重に検討を行い、対応の可否を判断することとなります。</p>

学生からの意見・要望等

～令和3年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	内容	部局等名	意見等への今後の対応(対応できない場合はその理由)を記載してください。
10	オリエンテーションの際に、manabaの使い方やZOOMの使い方、授業の形態(対面か遠隔授業)などを丁寧に説明して欲しい。 また、同じ学科またはプログラムの学生の名簿をオリエンテーションの際に欲しい。	理学部 共通教育課	(理学部) manabaの使い方やzoomの使い方については、オリエンテーションで一般的なことは説明していますが、個々の学生さんに対応する形での説明は、時間の関係でできていません。個別にプログラムの教務委員の方に質問していただくことをお勧めします。学生の名簿配布については、理学部では、個人情報保護の観点から配布しておりません。 (共通教育課) manaba学習システムのホームページには、学生のみなさん向けのマニュアル、資料、動画説明が公開されています。授業の形態(対面か遠隔授業)についても、鹿児島大学のホームページで公開しています。
11	桜ヶ丘キャンパス内の食堂が生徒の数に対して少ないと思います。 売店も小さい故に多くの生徒が集まり密になってしまうこともあります。 コロナ禍でもあるということで食堂を広くしたり、売店または食堂の数が一つでも増えれば混雑の解消になるのではないかと思います。	医歯研学務課	状況については把握しているが、財源の問題等学部単位では対応が難しい。
12	桜ヶ丘の体育館が老朽化していて前年度武道場のほうが改修されたいので体育館も改修して欲しいです。体育館で運動する学生の安全確保のためにも体育館の改修を希望します。	医歯研学務課	状況については把握しているが、財源の問題等学部単位では対応が難しい。
13	1年生で体育会系の部活に入っている人からは部室がなくて困っていることを聞いております。 私も運動部の学生が部活後に着替えている場所を拝見しましたが足の踏み場がほとんどなく、学生の荷物の置き場所がほとんどなく、ほかの人と荷物が混ざったり、荷物を体育館の端に置いたりして、特に体育館いっぱいまでコートとして使うバスケットボール部の学生にとっては危険な状況となっております。 郡元は立派なサークル会館がありますので、桜ヶ丘も部室くらいはあって欲しいと思います。	医歯研学務課	状況については把握しているが、財源の問題等学部単位では対応が難しい。
14	秀(90点以上)が評価対象者の20%以内に収めるように評価をつけるとしている理由が知りたい。学修達成度がそのラインに達している人が秀をとれないという事態が起きないといえないと思います。	工学部 教務課 共通教育課	(工学部) 成績評価ガイドラインは、公正な成績評価を厳格かつ客観的に実施するための基準で、全学的に策定されているものです。 工学部では、全学ガイドラインに基づき、「工学部における成績評価ガイドライン」を策定しています。その中で、「Aが評価対象者の20%以内に収まることを目安とする」ことを定めていますが、「履修登録者数が20人未満の科目」や「実験、実習、演習」、「科目の性格上もしくは履修課程上の理由から、A評価人数の上限を設けることが不適切と判断された科目」は対象外とすることとなっています。 対象となった科目ではA評価が20%以内となるよう授業設計をしますが、評価の結果、実際にA評価の基準に達している人が、20%を超えるからと言ってA評価にならないことはありません。 (教務課) 大学設置基準及び本学学則に「学修の成果に係る評価については、客観性及び厳格性を確保する」旨の内容が規定されています。それを実施する目的で成績評価に関するガイドラインを定めています。ガイドラインでは、「秀が評価対象者の20%以内に収まることを目安とする。」と定めています。「目安」という表現を使っていることからわかるように、これは秀を20%以内に収めないといいないというわけではありませんので、学修達成度が「秀」のラインに達している学生については、「秀」の評価をつけることとなります。 (共通教育課) 全学指針に準じているため、教務課回答

学生からの意見・要望等

～令和3年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	内容	部局等名	意見等への今後の対応(対応できない場合はその理由)を記載してください。
15	教員がmanabaの個別指導の設定をしていないと個人的な質問ができない。	工学部	manabaの個別指導の設定はデフォルトで「教員のみ」になっているので、学期の始めにそれぞれの科目の設定を「教員・学生」に変更するよう周知をしている。しかし、変更のし忘れがあり、manabaの表示上はそれがわかりにくいので、デフォルトを「教員・学生」にするよう要望したい。
16	他の学科の授業も受けられるようにしてほしい。選んだ今の学科で良かったのか悩んでいる学生にとって助かるかもしれないから。	農学部	鹿児島大学農学部履修規則第10条より「他の学部等の授業科目を当該学部等の定めるところにより履修することができる」とされております。
17	実習をよりたくさんしてほしい。働く意味を分からずにただ知識だけため込むのは少し違うと思うからより現場を知れることを学びたい。	農学部	例えば農業生産科学科では、附属農場4施設(学内農場農事部、唐湊果樹園、指宿植物試験場、入来牧場)を回り、普通作物、園芸作物(野菜、花・観賞植物、果樹)及び家畜などの基本栽培、飼養技術の習得と播種から収穫までの実習科目や、高齢化率が県内で最も高い南大隅町をフィールドに、住民と交流しながら農業や暮らしに触れる体験を通じて、農山村に残された自然と共生した暮らしの文化や知恵などを体験できる体験型授業科目も準備しています。
18	先生方の繋がっている職業の人の公開してほしい。学生が職業体験、インターンシップで行きたい場所の幅を広げたい。	農学部 キャリア形成支援課	(農学部) 先生方の繋がっている職業の人の公開はしておりませんが、先生方の業績等は参考になるかと思えます。 なお、以下のような修学支援や農学部公式の研究室紹介があります。お困りのことがあれば、まずはチューター教員に相談してください。 ・農学部チューター制度 全学生にチューター教員が割り振られています ・農学部学生相談室(毎月第2, 4水曜日) ・就職支援・インターンシップ窓口: 農獣医学生係 ・農学部公式YOUTUBE(研究室紹介) 農学部ホームページ内にリンクあり (キャリア形成支援課) インターンシップ(就業体験)については、インターンシップ窓口に多くの参加案内が来ています。是非お立ち寄りください。 https://www.kagoshima-u.ac.jp/job/internship.html もご確認ください。
19	農村留学(海外への留学だけでない)の制度を作って欲しい。自分の身近な社会の状況を知り、どうしたら解決できるかを考える機会として必要だと考えている。また、農村の活性化のきっかけも見つけないから。	農学部	農学部にはインターンシップを単位化している科目「インターンシップ研修」があり、そこでは職場とのマッチングも行われています。また全学レベルのボランティア支援センターがあり、ボランティア情報が提供されています。これらを利用した農村におけるインターンシップやボランティアを通して学ぶことも多いのではないのでしょうか。
20	「有機農業」や「自然学校へ行こう」などの講義のように、沢山の人が先生になる講義を増やしてほしい。大学の先生とはまた違う、現場で働いている人たちの声をもっと聞きたい。	農学部 共通教育課	(農学部) 外部講師を招いたり、実際に現場へ出向くような講義としては下記の講義があります。 ・植物生産実地研修(農業生産科学科開設) ・バイオ産業論(食料生命科学科開設) ・森林キャリアデザイン(農林環境科学科開設) (共通教育課) 共通教育では、令和3年度は、教養教育科目の前期19科目、後期11科目で外部有識者を招聘して授業を実施している。講義の特性、予算も考えながら検討したい。

学生からの意見・要望等

～令和3年度学長と学部新入生等との懇談会～

No.	内容	部局等名	意見等への今後の対応(対応できない場合はその理由)を記載してください。
21	地元の人と触れ合う機会を増やしてほしい。大学と地域の繋がりを強めたい。	農学部 社会連携課	<p>(農学部) (就職支援や授業関連ということではなさそうですので、農学部としては特に行っておりません。)</p> <p>(社会連携課) 産学・地域共創センターでは、「進取の精神チャレンジプログラム(地方創生活動部門)」を毎年度実施しており、学生が企画・運営するプログラムに対して大学が支援を行っている。地方創生活動部門については、「テーマをオンラインで繋がる地方創生！」として、コロナ禍においても県内自治体や企業など地域の方々と連携した取組みを実施しているので、是非、来年度チャレンジしていただきたい。</p>
22	zoomの授業では基本的に全員カメラオンで行ってほしい(規模の大きい講義でもカメラオンで実際にできているのに参加したことがある。そのため、大人数で画像が悪くなることは殆ど無いのではないかとと思われる)。一緒に学んでいる人がいることを実感したい。講義はパソコンに向かってひとりだけで映像を見るものではないという認識を改めて持ち直したい。	農学部 共通教育課	<p>(農学部) 全員がカメラオンで授業を行いたいと思っている教員は多いが、その指示をしてはならないと聞いたことがあるため、カメラオンを要求していない教員もいます。</p> <p>(共通教育課) 受講者にカメラが設定されていない場合もあるが、講義開始直後や終了時にカメラをオンにするなど、授業形態も考えながらzoomを利用した授業の改善に向け検討したい。</p>
23	馬術部にもっと資金がほしい	学生生活課	<p>学友会に所属するサークルにおける活動については、学生の自主的活動と位置付けられています。学部学生の皆さんが入学時に納入した学友会会費を財源として、各サークルへ活動費として配分されていますので、一部のサークルへの多額の配分は難しいです。</p> <p>今回実施されたクラウドファンディング等を引き続き利用して資金を集めてみてはいかがでしょうか。</p>
24	馬術部の厩舎も新しく作って欲しい	学生生活課	<p>厩舎の新設については予算の問題もあり対応が難しいですが、昨年度、馬房の間仕切り壁の改修工事を行うなど可能な範囲で対応しています。</p>
25	遠隔授業を受けるために空き教室を利用しているが、公開している空き室情報が最新ではないことがあり、予約していた授業のために追い出されてしまうことがあるので、情報は常に最新にして欲しい。	共通教育課	<p>公開している空き室情報については現在最新になっている。1日限りの利用申請がある場合には対応していないため、教室へ掲示をするなど、その時間は教室が使用できないことを周知するよう、利用者へ依頼している。</p>
26	他の学部の専門科目も受けられたら受けてみたいです。	共同獣医学部	<p>鹿児島大学規則第44条に「学生は各学部及び共通教育センターの定めるところにより、他学部等の授業科目を履修することができる」とされており、また、鹿児島大学共同獣医学部規則第15条に「学生は他学部の授業科目を当該学部の定めるところにより履修することができる。2 前項の授業科目は、卒業要件とはならない自由科目とする。」と明記されています。</p>
27	大学から支給されたKメールに迷惑メールが届くので、このアカウントのセキュリティ面に不安を感じている。	学生生活課	<p>この迷惑メールは、学術情報基盤センターが実施した「不審メール対応訓練」のメールですので、セキュリティに関しては心配する必要はありません。</p>